

平成 24 年度 岐阜工業高等専門学校シラバス						
教科目名	建築構法	担当教員	清水隆宏、犬飼利嗣			
学年学科	2 年 建築学科	通年	必修	2 単位		
学習・教育目標	(D-4) 80%、(E) 20%					
授業の目標と期待される効果： 建築にまず求められる機能は、安全に使用できること・必要な空間を確保していることである。この授業では、主に建築構造の基本となる事項を幅広く学習し、続く専門科目を理解するための基礎知識を習得し、それらを建築設計に活用する手段を理解することを目標とする。		成績評価の方法： 前期：中間試験 100 点＋期末試験 100 点 後期：中間試験 100 点＋期末試験 100 点 学年：総計 400 点とし、前期・後期の重みを等しくして得点率 (%) により成績評価を行う。 また、授業に対する姿勢も考慮し、授業の進行を妨げる行為・消極的な行為に対しては、得点率の 1～10% を減じた値で評価する。 具体的には、出席簿に記載した注意の回数と減点 (%) を対応させる。				
(1) 建築構造の基本構成を理解する (2) 多様な建築構法の存在を理解する (3) 木質構造の材料や構成を理解する (4) 鉄骨構造の材料や構成を理解する (5) 鉄筋コンクリート構造の材料や構成を理解する		達成度評価の基準： 以下の(1)～(7)に関連する問題を出題し、それぞれ 6 割以上の正答レベルに達していること。 (1) 建築構造の基本構成の理解 (2) 多様な建築構法の存在の理解 (3) 木質構造の材料や構成の理解 (4) 鉄筋やコンクリートの性質の理解 (5) 鉄筋コンクリート構造の材料や構成の理解 (6) 鉄骨構造の材料や構成の理解				
授業の進め方とアドバイス： 授業は、教科書と板書を中心に行うので、各自学習ノートを充実させること。 適宜参考となる資料等を示すので、予習・復習を必ず行うこと。 また、常日頃から身の回りの建築に注意し、その構法に興味を持つ姿勢が重要である。						
教科書および参考書： 教科書：建築構造（実教出版） 授業資料：プリント類（適宜配布）						
授業の概要と予定：前期（清水隆宏）						
第 1 回：建築構法で学習する内容のあらまし						
第 2 回：世界の建築構法						
第 3 回：建築物の構成要素						
第 4 回：建築物に影響を与える力						
第 5 回：構造計画の考え方、建築構造の分類						
第 6 回：木質材料の種類と性質						
第 7 回：木質構造の種類						
第 8 回：中間試験						
第 9 回：木質構造の接合方法						
第 10 回：木質構造の軸組み、壁の種類						
第 11 回：木質構造の床組み、木質構造の仕上げ						
第 12 回：日本伝統建築の構造（1）						
第 13 回：日本伝統建築の構造（2）						
第 14 回：屋根架構形式						
第 15 回：大スパン構造の構法						
期末試験						
第 16 回：フォローアップ（期末試験の解答の解説など）						

授業の概要と予定：後期（犬飼利嗣）
第17回：鉄筋コンクリートの構造形式（ラーメン構造・壁式構造など）
第18回：鉄筋コンクリート構造の構造計画
第19回：鉄筋の性質（1）
第20回：鉄筋の性質（2）
第21回：コンクリートの性質（1）
第22回：コンクリートの性質（2）
第23回：鉄筋コンクリート構造の材料の特性
第24回：中間試験
第25回：鋼材の分類と性質（1）（鉄の歴史と製品）
第26回：鋼材の分類と性質（2）（鉄の歴史と製品）
第27回：鉄骨構造の構造形式
第28回：鉄骨構造の構造計画
第29回；鉄骨構造の接合方法（溶接・高力ボルト）
第30回：鉄骨構造の柱や梁の形式
第31回：構造部材に作用する応力の種類と性質
期末試験
第32回：フォローアップ（期末試験の解答の解説など）